

METAPHOR

柿崎順一展 JUNICHI KAKIZAKI Exhibition METAPHOR | 比喩的な自然



Friday, May 24 → Sunday, June 2, 2019

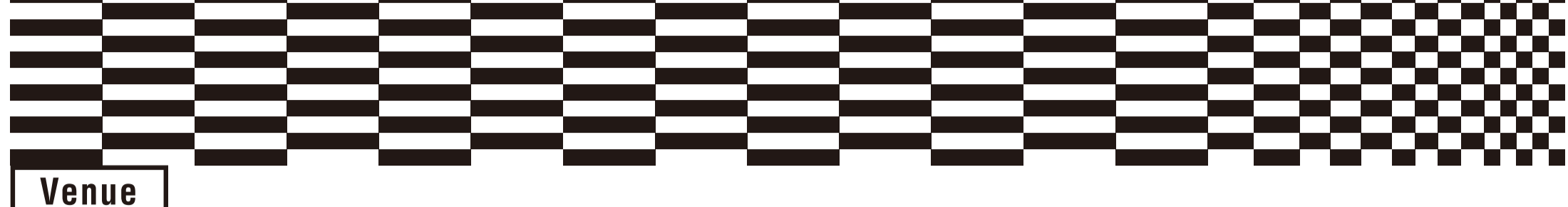
2019年5月24日 [金] — 6月2日 [日]

開園時間◎9:30~17:00(会期中無休)

Access

Alps Azumino National Government Park [Horigane / Hotaka District]
Theme Exhibition Hall, Multipurpose Room / Social Studies Room

国営アルプスあづみの公園 [堀金・穂高地区] テーマ展示館 多目的ホール / 社会科教室棟



Venue

Admission = Adult ¥450 / Group ¥290 / Senior ¥210 / Child Free *Group rate applicable of 20 or more children or adults

入園料◎一般450円 / 団体290円 / シルバー210円 / 小中学生・幼児 無料 *団体の適用対象は、小学生以上の入園者20名以上のご利用となります。



JUNICHI KAKIZAKI 《Monocular Chimpanzee》2018 Photo by Joji Okamoto

企画・主催 = 第36回全国都市緑化信州フェア実行委員会 (長野県、松本市、大田市、塩尻市、安曇野市、公益財団法人都市緑化機構)

特別協賛 = ソニーPCL株式会社、垂細亜印刷株式会社

協力 = 東京国立博物館、一般財団法人公園財団、アルプスあづみの公園管理センター、長野県信濃美術館、株式会社求龍堂、双子のライオン堂

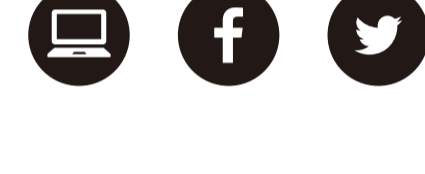
柿崎順一 [現代美術家 / フラワーアーティスト]

1971年長野県生まれ。基礎造形と園芸学を学び、花や木などの植物や土や石など自然を題材または主題にランドアート・環境アート・メディアアートなどの作品を制作、写真・ビデオ等を用いて発表している。代表的な展覧会およびインスタレーションに2007年「NEW LIFE - Quickening from the Cradle」スウェーデン大使館(東京)、「感情の強盗」横浜BankART(神奈川)、2011年「PETITS MONSTRES DES FLEURS DE PARIS」ギャラリー・ル・バンスジェス(フランス)、2014年「Ikebana and Contemporary Plant Art」ウプサラ植物園(スウェーデン)、2017年「TREE」札幌芸術の森美術館(北海道)など。



Junichi Kakizaki [Contemporary artist / flower artist]

Born in Nagano in 1971. Learned formative arts and horticulture studies, produced works such as flowers and trees and plants such as earth and stone as the main material or subjects, land art, environmental art, media art and other works, presentations using photographs and video etc. Representative exhibitions and installations include the 2007 "NEW LIFE - Quickening from the Cradle" Embassy of Sweden (Tokyo), "Emotion Burglar" Yokohama BankART (Kanagawa), 2011 "PETITS MONSTRES DES FLEURS DE PARIS" Galerie 26 chaises (France), 2014 "Ikebana and Contemporary Plant Art" Uppsala Botanical Garden (Sweden), 2017 "TREE" Sapporo Art Museum (Hokkaido) etc.



Exhibition Details

《Queen of Alpine | 高山の女王》 Sculpture 立体1作品
高山植物の女王と比喩される北アルプスを代表する花、コマササ1000株と北アルプスの樹木や地衣類等を生けた直径8メートルの作品をインスタレーションします。

《Metaphorical Nature | 比喩的な自然》 Photo 写真190作品 撮影: 岡本諒治、柿崎順一
日本だけでなく北欧などの都市と山中で撮影した、未発表の新作を中心とする写真作品190点以上を4Kデジタルモニターにてご覧いただけます。

《Red Lineage | 赤い系譜》 Video ビデオ1作品 撮影・編集: 三野綾子 監督: 柿崎順一
2018年8月~9月に行われた、スウェーデンの舞踏家SU-ENとのパフォーマンス・インスタレーション「IKI 2018 Japan Tour in Nagano」を中心に、最新の動画を記録したショートフィルム《赤い系譜 | Red lineage》を上映します。

《Azumino Skull Tea Room | あづみの髑髏庵》 Photo 写真1作品、Sculpture 立体1作品ほか
イギリスの奇オファッションデザイナー、アレキサンダー・マックイーンに捧げられたオマージュ《アレキサンダー・マックイーンに捧ぐ | Homage to Alexander McQueen》をテーマにした茶室を設え、木下史青(東京国立博物館)氏による、会期中1日限りの「あづみの髑髏茶会(現代アート茶会)」を催します。

Events

現代アート茶会「あづみの髑髏茶会」

日時 ▶ 2019年5月25日(土) 10:30~12:30 当日先着限定30名様
場所 ▶ あづみの髑髏庵(社会科教室棟茶室)
亭主 ▶ 木下史青(東京国立博物館 上席研究員)
茶花 ▶ 柿崎順一

※現代アート茶会に参加を御希望される方は、入園チケットの半券をご持参のうえ当日10:00に社会科教室棟土間付近にお集まりください。先着順にて整理券をお配りします。

ギャラリートーク「都市緑化と現代アート」

日時 ▶ 2019年5月25日(土) 14:00~15:00
場所 ▶ 多目的ホール
登壇 ▶ 木下史青(東京国立博物館 上席研究員)、
緒方京一(アルプスあづみの公園 管理センター長)、柿崎順一
コーディネーター ▶ 鈴木幸野(長野県信濃美術館・東山魁夷館 学芸員)

※ギャラリートーク観覧を御希望される方は、入園チケットの半券をご持参のうえ当日14:00迄に多目的ホール中央付近にお集まりください。

木下史青 東京国立博物館 上席研究員

Shisei Kinoshita



1965年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修士課程環境造形デザイン専攻修了。日本で初めての博物館専属の展示デザイナー。主な実績に、開創90年記念「国宝 平等院展」、プリスコレクション「若沖と江戸絵画展」、興福寺創建1300年記念「国宝阿修羅展」など数々の企画展の展示デザインがある。「東京国立博物館本館日本ギャラリーリニューアル」で、平常展示のリニューアルデザインを担当し、平成18年度日本デザイン学会年間作品賞を受賞。2006年より茶の湯を始め、現在、遠州流茶道師範 時青庵 木下宗史として茶会を行う。2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震・津波・余震による被災後、骨・髑髏茶碗などの道具を用いた祈りの茶会を行った。震災から8年が過ぎ、フクシマと東京との距離・こころの温度差を「アートで結ぶ茶の湯」を行っている。

写真:《どくろ敷茶会》
日展新会館2017年



サウンドインスタレーション「From North Alps」

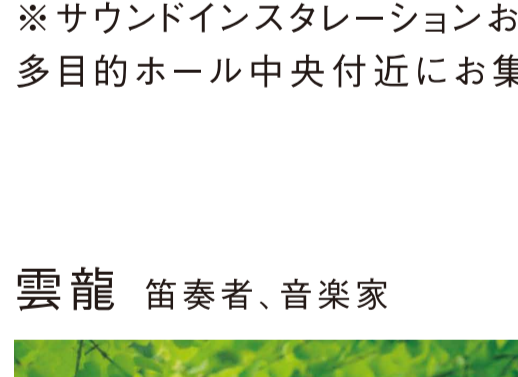
—— 雲龍 笛の演奏とアーティストトーク

日時 ▶ 2019年5月26日(日) 14:00~16:00
場所 ▶ 多目的ホール
登壇 ▶ 雲龍、柿崎順一

※サウンドインスタレーションおよびアーティストトーク観覧を御希望される方は、入園チケットの半券をご持参のうえ当日14:00迄に多目的ホール中央付近にお集まりください。

雲龍 笛奏者、音楽家

Unryu



1962年大阪生まれ、長野県在住。細野晴臣with環太平洋モンゴロイド・ユニットのメンバー。幼い頃より笛に親しみさまざまな「場」で笛を吹く。横笛、土笛、石笛、木の葉の笛、コアガラスの笛、ネイティブアメリカンフルートなど数多くの笛を演奏する。信州高遠美術館「平山郁夫」展、ワタリウム美術館「大地の精神」展、横尾忠則&細野晴臣「アートパワー」展、横浜美術館イサム・ノグチ展「光と影にひびきあう」にて演奏。SKETCHSHOW(高橋幸宏+細野晴臣)+雲龍「杉本博司:時間の終わり」展六本木ヒルズ・森美術館にて演奏。鞍馬、出雲、吉野、富士山、高千穂など様々な場所で笛を演奏している。演奏にあわせて平成12年より「陶笛・息吹の笛」の創作活動を始め、各地で「息吹の笛の集い」を行い、一つ穴、一音の響きの世界を伝えている。 http://www.shana-records.com/

撮影: 河上展儀



Books

※会場内にて展覧会図録をご購入された方で御希望の先着限定30名様に、
各日イベント終了後にサインを入れさせていただきます。ご購入の図録をご持参
のうえ、多目的ホール中央付近にお集まりください。

展覧会図録販売

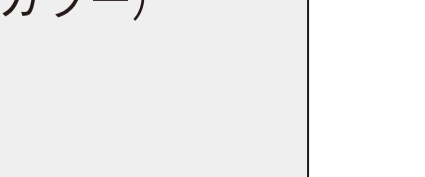
『JUNICHI KAKIZAKI METAPHOR | 比喩的な自然』

価格: 4630円(税込5000円) 会場内限定先行販売

著者: 岡本諒治、柿崎順一 英訳: リチャード・ハート
寄稿: 木下史青(東京国立博物館 上席研究員)、鈴木幸野(長野県信濃美術館・東山魁夷館 学芸員)、林育正(フォトグラファー)、岡澤慶澄(金峯山 長谷寺住職)、由井緑郎、竹田信弥、小林伸威、佐藤武彦
印刷・製本: 垂細亜印刷株式会社 装丁: 永田傑(ナガタデザイン) 発売元: 双子のライオン堂

この作品集は2019年、国営アルプスあづみの公園を会場に開催される柿崎順一展「JUNICHI KAKIZAKI Exhibition METAPHOR | 比喩的な自然」の図録を書籍として出版するものです。作品名、使用材料、制作年、撮影地などが記載されており、作品をより深く理解していただく為の必需品となっています。

NOW PRINTING
A4変形 (256頁 / カラー)



関連CD販売

『METAPHOR』
ism [Pat Thomas, Joel Grip, Antonin Gerbal]

2019年5月23日 発売予定 ※会場内に販売いたします。
価格: 1852円(税込2000円)

発売元: Umlaut Records(Germany) 輸入盤

ロンドンを中心に活動する名ピアニストパット・トーマス率いるインプロビゼーション・ジャズトリオ"ism"が世に放つデビューアルバム『METAPHOR』。長年に亘り柿崎とのコラボレーションを重ねてきたヨエル・グリップ、アントニン・ジェルバルの呼びかけに呼応する形で、ジャケットのアートワークを柿崎順一とフォトグラファターの岡本諒治が担当しています。また楽曲はショートフィルム《赤い系譜 | Red lineage》のオリジナルサウンドトラックにもなっています。



umcd0030
©&© umlaut records 2019
all rights reserved NCB

